

第5節 資料

1 アンケート調査用紙（一般用）

アンケートにご協力ください

※このアンケートは、令和3年6月1日現在、大竹市にお住まいの方に送付しています。

「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」

※回答期限：令和3年6月28日（月）まで



日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

市では、10年間のまちづくりの目標とその実現の方策を示した「第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）」を平成23年度に策定し、「よいまち」の実現に取り組んできました。このアンケートでは、主に、わがまちプランのテーマでもある「大竹市に住んでよかった」と皆さんがどれくらい感じているかを、「幸せ感」という尺度でおたずねします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、回答者は、市にお住まいの18歳以上の方の中から、「無作為抽出」により1,500人（地区別層化抽出1,000人、20歳以上50歳未満から抽出500人）を選んでいます。（抽出日：令和3年6月1日）

このアンケートは「令和2年度」の内容についておたずねします。

- 最初に、回答者ご自身のことについておたずねします。
- 問1では、わがまちプランの基本目標に関連する項目について、皆さんの「幸せ感」をはかる尺度を設定し、それをあなたがどう思っているかをたずねします。
- 問2では、「市民自治」について、あなたがどう思っているかをたずねします。
- 問3では、市民の皆さんの「幸せ感」を高めるために、あなたが大竹市について心配していることをたずねします。
- 問4では、あなたが考えている「大竹市のよいところ」をたずねします。
- 問5では、あなたが「どのような時に幸せを感じるか」をたずねします。

★ご記入にあたってのお願い★

- アンケートには、この調査用紙をお送りした封筒に書かれた宛名のご本人がお答えください。（ご本人による回答が困難な場合は、代筆されてもかまいません。）
- 回答は、直接この調査用紙にご記入ください。
- 記入後は、この調査用紙を同封の返信用封筒に入れ、令和3年6月28日（月）までに、切手を貼らずにそのままポストに投函してください。
- 返信用封筒の下部にあるバーコードは、郵便局による仕分け用です。ご本人を特定するものではありません。また、無記名による回答ですので、どなたが書かれたものかはわかりません。率直なご意見をお寄せください。
- 調査結果やご意見は、後日、広報やホームページなどで公開します。

調 査 票

○ あなた自身のことについておたずねします。

次の(1)～(5)について、あてはまる数字に○をしてください。

(1)性別

1	男	2	女
---	---	---	---

(2)年齢

1	18歳～29歳	4	50歳～59歳
2	30歳～39歳	5	60歳～69歳
3	40歳～49歳	6	70歳以上

(3)住所

1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	5	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷
2	西栄、南栄、東栄、北栄	6	玖波、玖波町、湯舟町
3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海 黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	7	松ヶ原町
		8	栗谷町
4	阿多田		

(4)何年前から現在の場所に住んでいますか。(過去に大竹市から転出したことがある場合は、転出以前に大竹市に住んでいた期間は除いてください。)

※カッコ内には数字をお書きください。

1	3年未満	4	21年～30年
2	3年～10年	5	31年～40年
3	11年～20年	6	41年以上()年

(5)これからも大竹市にお住みになりますか。

1	ずっと住み続けるつもり	左記の回答で理由があれば、お書きください
2	当分の間は住むつもり	
3	将来的には転居したい	
4	近いうちに転居するつもり	
5	わからない	

問1

大竹市について、あなたが普段思っていることをおたずねします。
次の設問に、それぞれ「はい」・「いいえ」の当てはまるほう
に○をしてください。

1. 【生活基盤が整ったまち】について

ここでは、「うれしい」、「便利だ」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランのテーマ「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をめざすにあたり、まず働く場である地域産業の振興と暮らしやすい生活基盤の整備が重要であると考えています。

a	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	はい	いいえ
b	目的地までの移動がしやすいまちだと思う	はい	いいえ
c	道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい	はい	いいえ

2. 【安全なまち】について

ここでは、「ほっとする」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



住みやすいまちを考えるにあたって、安全の確保は皆が望むことです。しかし、危険を全て取り除くことは不可能ですので、愛するわがまちを見守る市民を増やしていきたいと考えています。

d	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う	はい	いいえ
e	消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う	はい	いいえ
f	自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う	はい	いいえ

「f」で「いいえ」を選択された方は、どんな活動なら参加したいと思いますか。

f2

3. 【安心できるまち】について

ここでは、「ほっとする」、「うれしい」、「ありがたい」、「充実感がある」という感情を幸せ感の尺度とします。



いつまでも元気で、住み慣れたまちで暮らせるように、地域を愛し、人を愛する温かい市民とともに、みんなで福祉制度を支えます。
また、自らも元気を保つ生活習慣を身に付けます。

g	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	はい	いいえ
---	---	----	-----

h	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	はい	いいえ
---	---	----	-----

i	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	はい	いいえ
---	------------------------------	----	-----

「i」で「はい」を選択された方

①具体的にどんなボランティア活動に参加してみたいですか。

i2

②今、実際にやっていることは何ですか。

4. 【心にゆとりを感じるまち】について

ここでは、「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」という感情を幸せ感の尺度とします。



生涯を通して生きがいを持つことで、心にゆとりや豊かさを感じ、いきいきと暮らしてほしいと考えています。

また、市内のどこに行ってもきれいなまちをめざし、大竹を誇りと愛着の持てるまちにしたいと思います。

j	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	はい	いいえ
---	------------------------------	----	-----

k	地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	はい	いいえ
---	----------------------------------	----	-----

l	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	はい	いいえ
---	-------------------------------	----	-----

l2

あなたがやっている環境美化の取り組みがあれば、教えてください。

5. 【大竹を愛する人づくり】について

ここでは、「うれしい」、「好きだ」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランの方向「よいまち」をつくるのは、人の思いと実行力であると考えています。

自分のまちが好きであれば、まちのことを自分のこととして考えることができます。

大竹のよいところを知ってもらい、大竹を好きになってくれる人を増やします。

m

大竹のよいところを知っている

はい

いいえ

「はい」を選択された方は、あなたが考える「大竹のよいところ」を、教えてください。

m2

n

市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ

はい

いいえ

o

あなたの暮らす地域が好きだ

はい

いいえ

「o」で「はい」を選択された方は、「特にどこが好きか」を教えてください。

o2

「o」で「いいえ」を選択された方は、「好きになれない理由」を教えてください。

問2

「市民自治」について、あなたの考えをおたずねします。次の設問について、それぞれ「はい」・「いいえ」の当てはまるほうに○をしてください。



わがまちプランでは、市民の皆さんが、まちづくりを自分の問題としてとらえ、行政と一緒に考え、そして行動することで、他の人のために役立つことや地域に貢献できることに喜びや生きがいを感じてほしいと思っています。

このような「市民自治」の精神を持った市民が増えることは、大竹を愛する人が増えることにもつながり、「住みたい、住んでよかったと感じるまち」にも近づいていくと考えます。

p

あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている

はい

いいえ

q

自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい

はい

いいえ

q2

「q」で「はい」を選択された方

①「やってみたいこと」を教えてください。

②「今、実際にやっていること」を教えてください。

③「やってみたいと思ってもできない理由」があれば、それも教えてください。

問3

あなたが大竹市に足りていないと思っていることを次の項目から3つまで選び、どうすれば、解消できると思うか、あなたの考えを教えてください。

- a 地域産業が盛んでまちに元気があると思う
- b 目的地までの移動がしやすいまちだと思う
- c 道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい
- d 災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う
- e 消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う
- f 自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う
- g 困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う
- h 生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている
- i 地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う
- j やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している
- k 地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている
- l 環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい

(記号欄)

(記入欄)

足りていないと思っていることを具体的にお書きください。

どうすれば解消できるかお書きください。

(記号欄)

(記入欄)

足りていないと思っていることを具体的にお書きください。

どうすれば解消できるかお書きください。

(記号欄)

(記入欄)

足りていないと思っていることを具体的にお書きください。

どうすれば解消できるかお書きください。

問4

大竹市でのあなたのイチオシについて教えてください。
好きな「ひと」・「もの」・「こと」・「とき」・「ところ」
など、何でも構いません。ひとつだけお書きください。

「幸せ感」とは・・・

ここまでは、皆さんの心配や不安がなくなるよう、市が取り組むことで、少しでも皆さんの「幸せ感」を高めることができるのではないかと考える項目についてお尋ねしました。
しかし、皆さんが普段感じる「幸せ感」は、おいしいものを食べたときや、家族の団らん、子どもが笑った顔を見たときなど、ほんのささいなことかもしれません。

問5

最後におたずねします。
あなたはどのような時に幸せを感じますか。
最近「幸せだな」と感じたことを教えてください。

(記入欄)

設問は、これで終わりです。

皆さん一人ひとりが感じるささやかな幸せも、それがだんだん大きく広がっていけば、行政の目標である市民全体の幸せに、一歩ずつ近づいていくものと考えています。

市では、よいまちの実現に向けて、皆さんの幸せ感を少しでも高められるよう、取り組みを進めていきます。

このたびは、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。



大好き おおたけ
笑顔♪元氣いつまでも

未来の幸せづくりに向けた新しいまちづくりの計画「大竹市まちづくり基本構想」を作りました。
絵本のようなイラスト中心の冊子を、広報おおたけ5月号とともに全世帯に配付しています。
市ホームページでも詳しく紹介しています。



↑ ↑ ↑
こちらのQRコードを読み込むとホームページが見られます。

モニターさん用

「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」

※回答期限：令和3年6月28日（月）まで



日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

市では、10年間のまちづくりの目標とその実現の方策を示した「第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）」を平成23年度に策定し、「よいまち」の実現に取り組んできました。わがまちプランでは、取り組みの成果を確認するための主要指標として「アンケートで幸せ感に関するポイントを上げる」を掲げています。このアンケートは、わがまちプランの計画期間中（平成23年度から令和2年度まで）、毎年実施しています。（計画期間は昨年度で終了しましたが、今回のアンケートは令和2年度分として実施します。）

実施方法は2種類あり、1つは、無作為抽出による1,500人の市民の皆さんに、お気持ちを伺うもの（「一般」）です。もう1つは、あなたに引き受けていただいている、毎年同じ目線から昨年と比較してどうなっているかをおたずねするもの（「モニター」）です。

前年との比較を続ける上で、10年間同じ方に「モニター」をお願いすることで、長い間の動きを知ることができます。

今回のアンケートは、この方式での最後になりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いします。

「モニター」用アンケートは、回答者の負担を減らすため、「一般」に比べて設問を簡略化しています。また、この1年間、市がしてきたことが少しでもわかるように、令和2年度の当初予算から主要な事業を抜粋した資料を同封しています。ストレートに質問と結びつくものではありませんが、参考にしていただき、昨年と比較して今の大竹市がどのような状態にあるかをお答えください。

このアンケートは、「令和2年度」の内容について、おたずねします。

- 最初に、回答者ご自身のことについて、おたずねします。
- 問1では、わがまちプランの基本目標に関連する項目について、皆さんの「幸せ感」をはかる尺度を設定し、それをあなたがどう思っているかをおたずねします。
- 問2では、「市民自治」について、あなたがどう思っているかをおたずねします。

★ご記入にあたってのお願い★

- アンケートには、この調査用紙をお送りした封筒に書かれた宛名のご本人がお答えください。（ご本人による回答が困難な場合は、代筆されてもかまいません。）
- 回答は、直接この調査用紙にご記入ください。
- 記入後は、この調査用紙を同封の返信用封筒に入れ、6月28日（月）までに切手を貼らずにそのままポストに投函してください。
- 返信用封筒の下部にあるバーコードは、郵便局による仕分け用です。ご本人を特定するものではありません。また、無記名による回答ですので、どなたが書かれたものかはわかりません。率直なご意見をお寄せください。
- 調査結果やご意見は、後日、広報やホームページなどで公開します。

調 査 票

○ あなた自身のことについておたずねします。

次の(1)～(5)について、あてはまる数字に○をしてください。

(1) 性別

1	男	2	女
---	---	---	---

(2) 年齢

1	18歳～29歳	4	50歳～59歳
2	30歳～39歳	5	60歳～69歳
3	40歳～49歳	6	70歳以上

(3) 住所

1	新町、油見、本町、白石、元町、大竹町、木野	5	防鹿、穂仁原、比作、安条、前飯谷、後飯谷
2	西栄、南栄、東栄、北栄	6	玖波、玖波町、湯舟町
3	立戸、御幸町、御園、御園台、小方、晴海 黒川、港町、三ツ石町、小方町、小方ヶ丘	7	松ヶ原町
		8	栗谷町
4	阿多田		

(4) 何年前から現在の場所に住んでいますか。(過去、大竹市から転出したことがある場合は、転出以前に大竹市に住んでいた期間は除いてください。)

※カッコ内には数字をお書きください。

1	3年未満	4	21年～30年
2	3年～10年	5	31年～40年
3	11年～20年	6	41年以上()年

(5) これからも大竹市にお住みになりますか。

1	ずっと住み続けるつもり	左記の回答で理由があれば、お書きください
2	当分の間は住むつもり	
3	将来的には転居したい	
4	近いうちに転居するつもり	
5	わからない	

問1

大竹市について、あなたが普段思っていることをおたずねします。
次の「a」～「o」の設問について、「1年前と比べてどうか」という視点で、それぞれあてはまる選択肢を○で囲んでください。

1. 【生活基盤が整ったまち】について

ここでは、「うれしい」、「便利だ」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。

わがまちプランのテーマ「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をめざすにあたり、まず働く場である地域産業の振興と暮らしやすい生活基盤の整備が重要であると考えています。



a	地域産業が盛んでまちに元気があ ると思う	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	-------------------------	------	------	-------------	-------------	--------

b	目的地までの移動がしやすいまち だと思う	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	-------------------------	------	------	-------------	-------------	--------

c	道路、公園、上下水道、水路などの 基盤整備が整っていて暮らしやすい	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	--------------------------------------	------	------	-------------	-------------	--------

2. 【安全なまち】について

ここでは、「ほっとする」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。

住みやすいまちを考えるにあたって、安全の確保は皆が望むことです。
しかし、危険を全て取り除くことは不可能ですので、愛するわがまちを
見守る市民を増やしていきたいと考えています。



d	災害、犯罪、事故などが少ない安全 なまちだと思う	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	-----------------------------	------	------	-------------	-------------	--------

e	消防団や自主防災組織等の活動が 活発で、地域住民の防災意識、危機 管理意識は高いと思う	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	---	------	------	-------------	-------------	--------

f	自主防災組織の活動、救命講習、 交通安全運動などに参加したいと思 う	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	--	------	------	-------------	-------------	--------



「1年前と比べてどうか」という視点で、お答えください。



3. 【安心できるまち】について

ここでは、「ほっとする」、「うれしい」、「ありがたい」、「充実感がある」という感情を幸せ感の尺度とします。



いつまでも元気で、住み慣れたまちで暮らせるように、地域を愛し、人を愛する温かい市民とともに、みんなで福祉制度を支えます。
また、自らも元気を保つ生活習慣を身に付けます。

g	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

h	生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

i	地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

4. 【心にゆとりを感じるまち】について

ここでは、「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」という感情を幸せ感の尺度とします。



生涯を通して生きがいを持つことで、心にゆとりや豊かさを感じ、いきいきと暮らしてほしいと考えています。

また、市内のどこに行ってもきれいなまちをめざし、大竹を誇りと愛着の持てるまちにしたいと思います。

j	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

k	地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない

l	環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない



「1年前と比べてどうか」という視点で、お答えください。



5. 【大竹を愛する人づくり】について

ここでは、「うれしい」、「好きだ」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランの方向「よいまち」をつくるのは、人の思いと実行力であると
考えています。

自分のまちが好きであれば、まちのことを自分のこととして考えることができます。
大竹のよいところを知ってもらい、大竹を好きになってくれる人を増やします。

m	大竹のよいところを知っている	よく知って いる	少し知って いる	どちらでも ない	あまり 知らない	ほとんど 知らない
---	----------------	-------------	-------------	-------------	-------------	--------------

n	市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	----------------------	------	------	-------------	-------------	--------

o	あなたの暮らす地域が好きだ	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	---------------	------	------	-------------	-------------	--------

問2

「市民自治」について、あなたの考えを
おたずねします。次の「p」と「q」の設問について、
「1年前と比べてどうか」という視点で、それ
ぞれあてはまる選択肢を○で囲んでください。



わがまちプランでは、市民の皆さんが、まちづくりを自分の問題としてとらえ、行政と一緒に考え、そして行動することで、他の人のために役立つことや地域に貢献できることに喜びや生きがいを感じてほしいと思っています。
このような「市民自治」の精神を持った市民が増えることは、大竹を愛する人が増えることにもつながり、「住みたい、住んでよかったと感じるまち」にも近づいていくと考えます。

p	あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	---------------------------	------	------	-------------	-------------	--------

q	自分でもできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい	そう思う	少し思う	どちらでも ない	あまり 思わない	そう思わない
---	--------------------------------	------	------	-------------	-------------	--------

問3

大竹市でのあなたのイチオシについて教えてください。

好きな「ひと」・「もの」・「こと」・「とき」・「ところ」
など、何でも構いません。ひとつだけお書きください。

「幸せ感」とは・・・

このアンケートでは、皆さんの心配や不安がなくなるよう、市が取り組むことで、少しでも皆さんの「幸せ感」を高めることができるのではないかと考える項目についてお尋ねしました。

しかし、皆さんが普段感じる「幸せ感」は、おいしいものを食べたときや、家族の団らん、子どもが笑った顔を見たときなど、ほんのささいなことかもしれません。

設問は、これで終わりです。

皆さん一人ひとりが感じるささやかな幸せも、それがだんだん大きく広がっていけば、行政の目標である市民全体の幸せに、一步步近づいていくものと考えています。

市では、よいまちの実現に向けて、皆さんの幸せ感を少しでも高められるよう、取り組みを進めていきます。

長い間、モニターとしてアンケートにご協力くださり、誠にありがとうございました。



大好き おおたけ
笑顔♪元氣いつまでも



↑ ↑ ↑
こちらのQRコードを読み込むとホームページが見られます。

未来の幸せづくりに向けた新しいまちづくりの計画「大竹市まちづくり基本構想」を作りました。絵本のようなイラスト中心の冊子を、広報おおたけ5月号とともに全世帯に配付しています。市ホームページでも詳しく紹介しています。